

電子入札

番号	いただいたご意見・ご要望等	回答
1	送信できる添付ファイルの容量を増やしてほしい。	発注者のシステム運用方針で添付ファイルの容量に制限が設けられている場合がありますが、最新のコアシステムのバージョン(V6)では、工事・業務における技術提案書、技術資料の提出、物品・役務における提案書の提出において最大10MBの添付ファイル送信を可能としております。
2	最新のOS、Webブラウザに対応してほしい。発注者ごとにJAVAやブラウザの対応事期がちがう。	JACICでは、マイクロソフト社がサポートするWindows OS及びInternet Explorer、オラクル社がサポートするJAVA実行環境(JRE)を対象として電子入札コアシステムによる動作確認を適時実施しております。 現行の最新バージョンでありますWindows10 と Internet Explorer11、JRE8u191の動作確認は既に完了しております。 なお、将来的にPCでJAVA実行環境(JRE)を使わない方式に移行するための改良を進めています。また、Microsoft Edgeなど、Internet Explorer以外のWebブラウザへの対応につきましては検討中です。
3	使用しているPCの設定がシビアなため、PC更新の際に作業が大変である。	昨今のPCのセキュリティ強化対応に伴い、設定が複雑化しています。ご迷惑をお掛けしますが、システムを安全に利用するために必要な作業ですのでご理解願います。
4	電子入札システムは、各自治体によってまちまちなので、検索しづらい。電子入札のシステムはできるだけ統一してほしい。国・県用と市用とパソコンを別に用意しないとイケないので不便である。	電子入札コアシステムは、入札参加者の操作画面に関するGUIガイドラインを策定し、当システムを採用している発注機関が運用する電子入札システムでは操作性を統一するよう工夫しています。 また、電子入札コアシステムを採用している複数の発注機関の場合でしたら、1台のパソコンでこれら複数の発注機関の電子入札システムが利用できます。
5	電子入札は遠方からでも役所に行かずに入札でき、手間もかからないなどメリットは大きいので、できるだけ多くの自治体で電子入札を実施してほしい。	JACICとしても電子入札の導入促進に貢献していきたいと考えておりますので、自治体への働きかけを継続してまいります。
6	電子入札案件について、閲覧したかどうか企業側で確認ができなく、案件が多い場合、閲覧漏れがある。閲覧したことを画面上で、例えばボタンの色が変わる等などの対応策をとってほしい。	最新のコアシステムのバージョン(V6)では、申請書提出などのボタンを押下したことが分かるように、押下したボタンの色が変わる機能を追加しました。
7	必要資料の添付として、技術資料、内訳書の添付等において、各段階で誤って不要な資料を添付しないように画面表示等で工夫してほしい。(ミスが出ないよう慎重にやっているが、システム側でもミスの起きにくい方法がとれないか)	最新のコアシステムのバージョン(V6)では、操作ミス防止の対応として、主なボタンの機能概要を説明するツールチップの表示(ボタンにマウスマウスカーソルを合わせた際に補足情報を表示する機能)を追加しました。

8	開札が予定時刻通りに行われていない。公告記載の時間が来たら自動的に開札されるようにしてほしい。	電子入札コアシステムでは、問題が発生したときなどに備え、開札予定日時以降において、発注者が手動で開札執行する仕組みとしていますので、ご理解願います。
9	開札前に内訳書が開封できるのは、事前に各社の入札金額の予想がつくので、厳密性が担保できるか疑問である。	電子入札コアシステムでは、内訳書の開封は入札書の受付締切後で行えない仕組みです。また、入札書は暗号化された状態でシステム内に保管されており、開札予定日時を経過しなければ暗号解除が出来ない仕組みです。さらに、電子署名技術を用いた改ざん検知、防止の機能も備えております。
10	電子入札による結果の通知が遅く自席を離れることが出来ない、再入札の時は連絡用のパソコンに通知が来るが、入札用のパソコンは前触れも無く再入札となり見落とす可能性がある、入札用のパソコンにも再入札の事前表示が欲しい。	結果の通知に関しましては、各発注機関の入札手続き上の運用に関わる部分と承りました。 ご要望いただいた件につきましては、機会ある毎に各発注機関へお伝えいたします。 再入札時の事前表示に関しましては、電子入札コアシステムでは再入札通知書による事前通知が行われる仕組みとなっております。
11	他社では通知の電子メールが迷惑メールに振り分けられて、指名が来たのがわからないことがあった。(一定期間経って指名通知を確認していなければ電話するなど連絡してもらえるとよい)	指名通知の確認に関する件は発注機関の運用に関わる部分と承りましたので、機会ある毎に各発注機関へお伝えいたします。 なお、電子メールの性質上、回線の混雑・不具合から遅延や欠落が発生する場合や、ご指摘いただいたように宛先者の目に触れない状態になる場合がございます。 電子メールはあくまでも補助的なツールとしてご利用いただき、システム上にて通知書等の到着状況をご確認いただきますようお願いいたします。
12	産学官民全体で連携・協働し簡易で迅速な入札契約方式にしていくことが望まれる。	JACICでは、電子入札コアシステムの改良にあたり発注者やITベンダーと協働して方針を検討しています。システムの改良を通じて、より使いやすいシステムを目指したいと考えます。